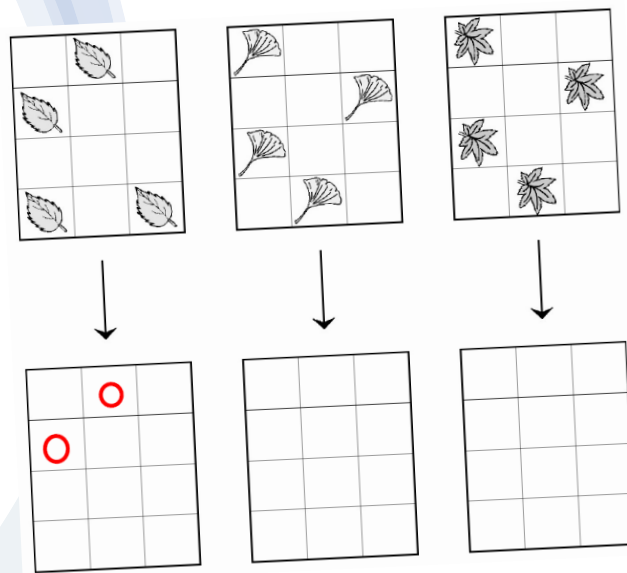
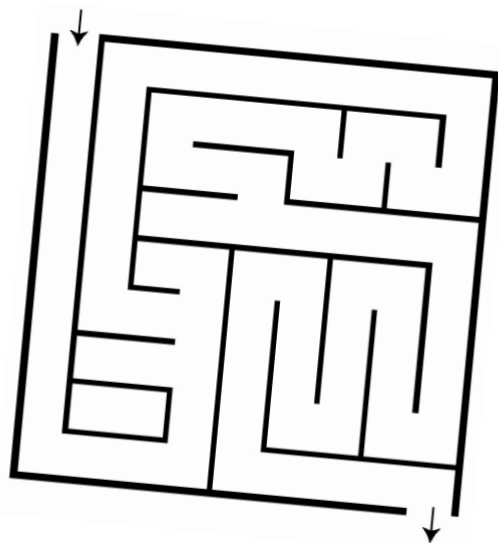


幼児の分野別能力開発

巧緻性UP ↑ ドリル



教育デザイン研究所

巧緻性UP↑ドリルの利用法

教育デザイン研究所 松本敏史

準備するもの

○鉛筆

鉛筆は、あまり長いと使いにくいので、ふつうの鉛筆の半分くらいの長さ(10センチくらい)のものをもたせてあげてください。

硬筆書写用の太しん、4B以上のこさの鉛筆がよいでしょう。(断面が三角形などのもちやすい形の鉛筆もよいでしょう)

○色鉛筆…10~12色のもの

○はさみ…子ども用の先のまるいはさみで、よく切れるもの

○のり

分野別指導法

・迷路の問題

鉛筆で線をひく前に、まず、指で道をたどってみましょう。道が分かれているところでは、先をよく見て、どちらに行けばうまく進めるか、考えさせましょう。実際に進んでみて行き止まりになれば、また途中までもどって、別の道を進めばよいのです。試行錯誤を重ねているうちに、先を見通す力がついてきます。道に線を引く時には、できるだけ道の真ん中に線をひかせて下さい。

・「点つなぎ」の問題

まず、お手本の線を鉛筆でなぞらせてみましょう。それから、「これと同じ形をこちらにも書きましょうね」という具合に、すすめてみましょう。基本的には、左上の点から書き始めるようにします。慣れないうちは、おうちの方が次につなぐ点を指などでさし示してあげながら、お子さまに線をひかせてもかまいません。コツがわかってきたら、お子さまに自分でお手本を見ながら、どの点とどの点をつなぐのかを確認させます。線をひく時は、点の上をきちんと通って、できるだけまっすぐに線をひきましょう。ななめの線もひけるように、練習しておきましょう。

取り組み方

120枚のプリントです。これを2回することをおすすめします。

1回目の120枚は、各プリント共に、時間制限なしで最後までやってください。慣れないうちは、時間がかかるかもしれませんが、できるだけ速くかつ正確に最後までやりきるようにし、「速くよりは正確に」に重点を置いてください。練習を重ねるうちに、はやくできるようになってきます。できあがったら、「上手にできたね」とほめてあげてください。お子さまがびっくりするくらいほめてあげると効果的です。1回で10枚ぐらい程度が目安です。

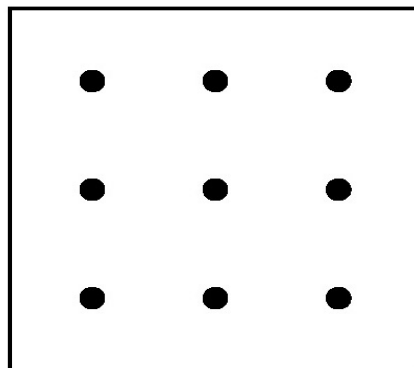
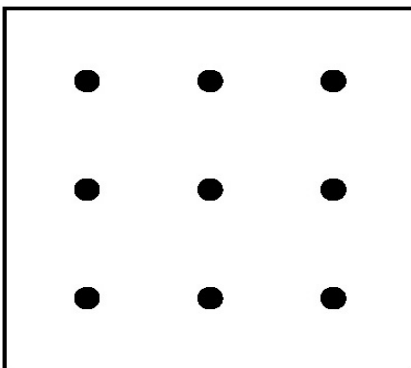
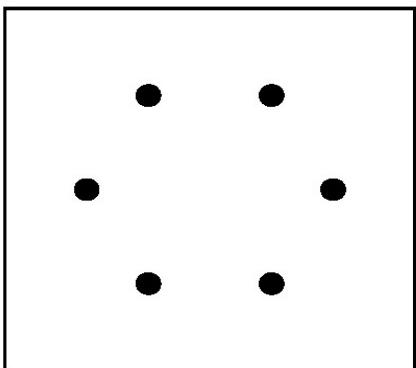
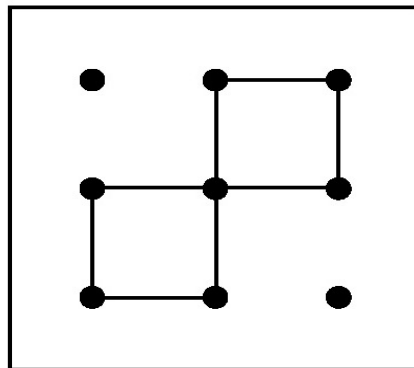
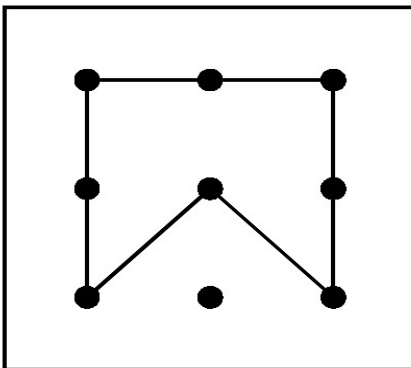
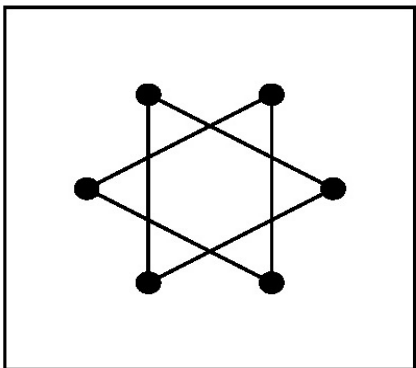
2回目の120枚は、各プリント共に、制限時間1分で、できるところまでやってください。1回目で習熟していれば、1分間で80%程度はできるようになっているはず。「はい、はじめましょう」から1分間で一旦作業をストップし、どれだけ正確にできているかチェックしてから、残りがあれば、最後までやらせてください。

ゲームをするように楽しみながらやると、能力UP!に効果的です。

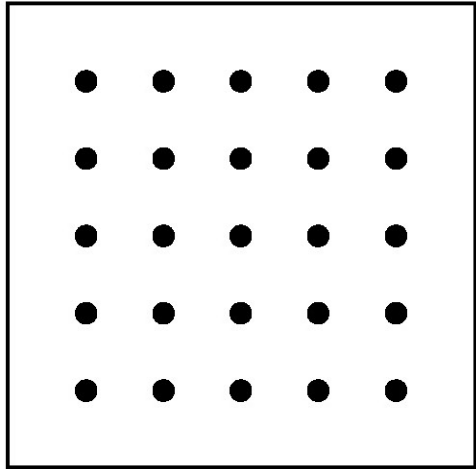
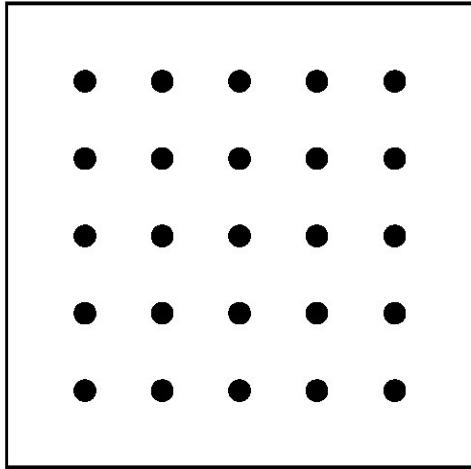
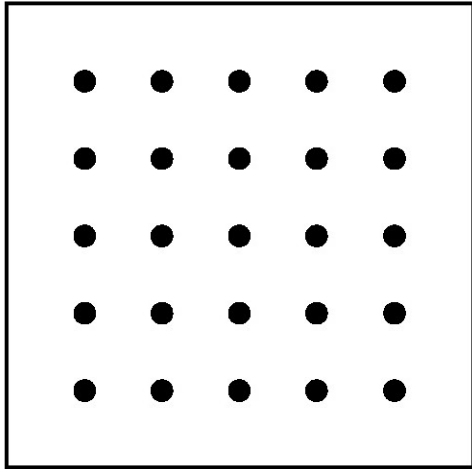
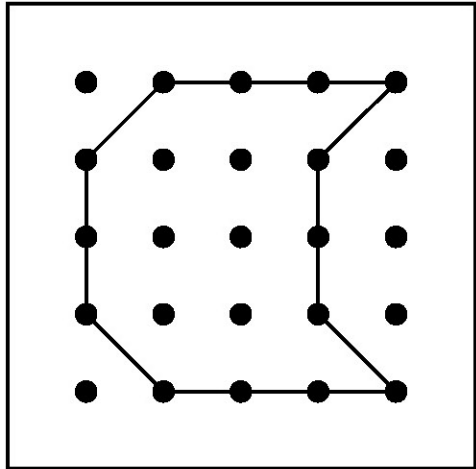
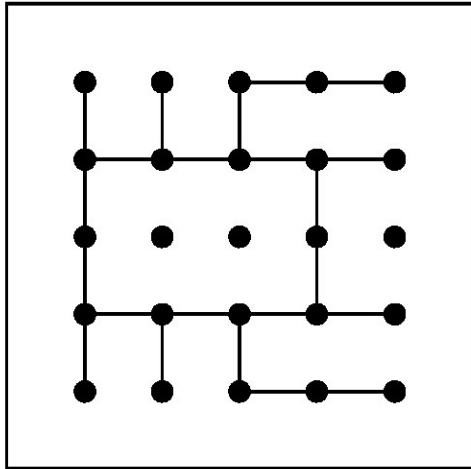
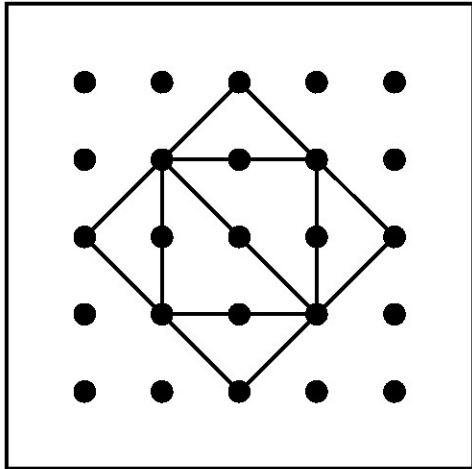
小学入試

作業的な事、巧緻性を試すような課題が出されることが多くなっているようです。なかには、みんなで何かを作るというようなグループ活動を観察する中で巧緻性も問うということもありますが、多くは巧緻性UP!ドリルの内容に近いものです。「試験」に慣れていない子は制限時間の認識がないので、一つの問題を最後までやることに拘って、他の問題を白紙で出すようなケースが結構あります。このドリルで、1回目は正確に最後まで、2回目は正確に速くすることに慣れておいてください。

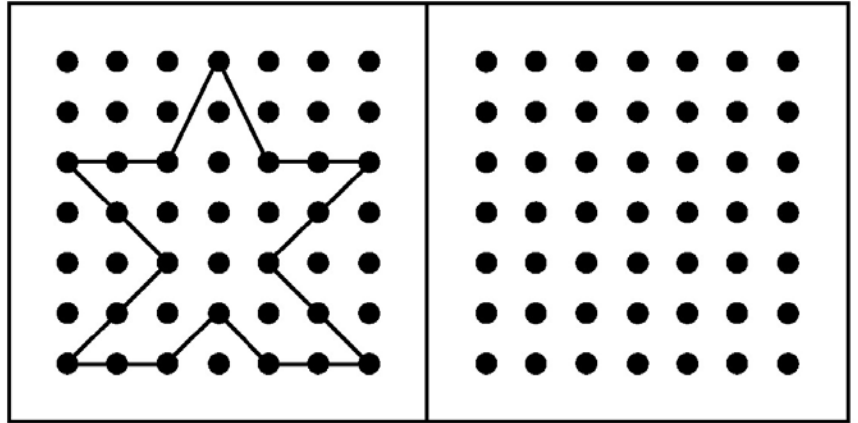
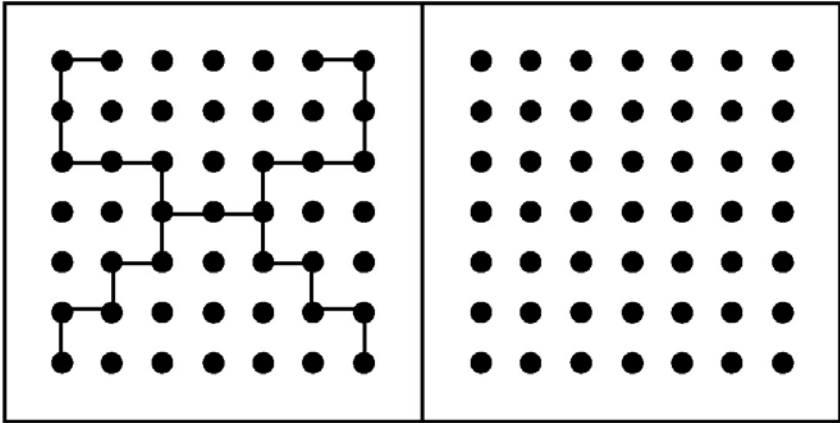
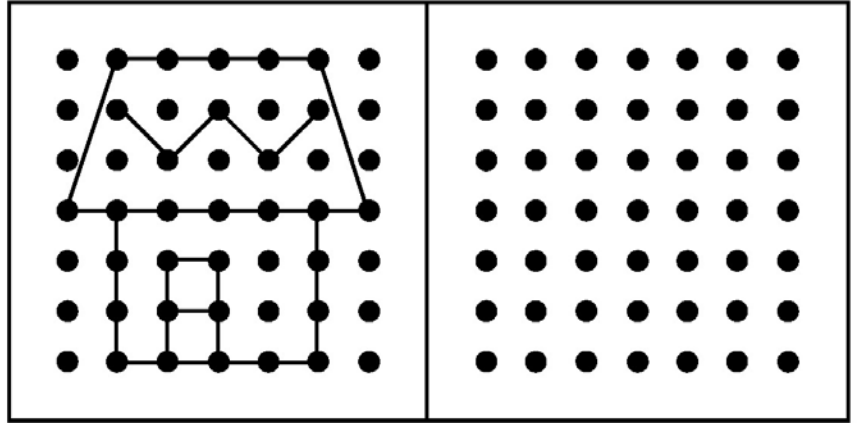
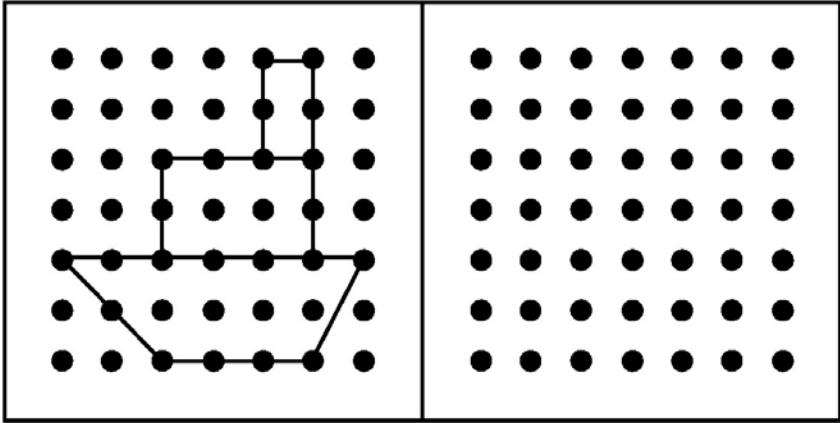
おてほんの とおりに を つなぎましょう。



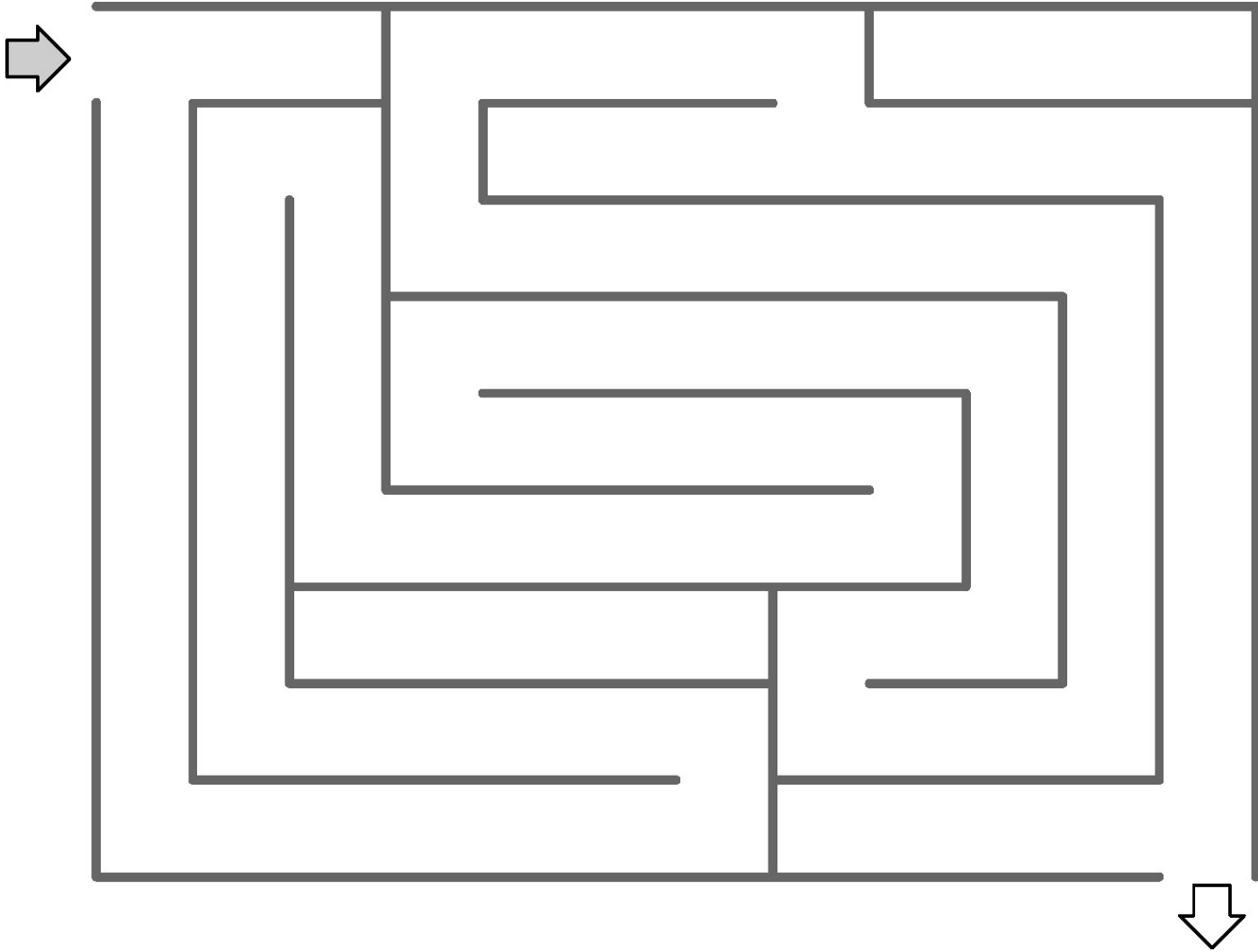
おてほんの とおりに を つなぎましょう。



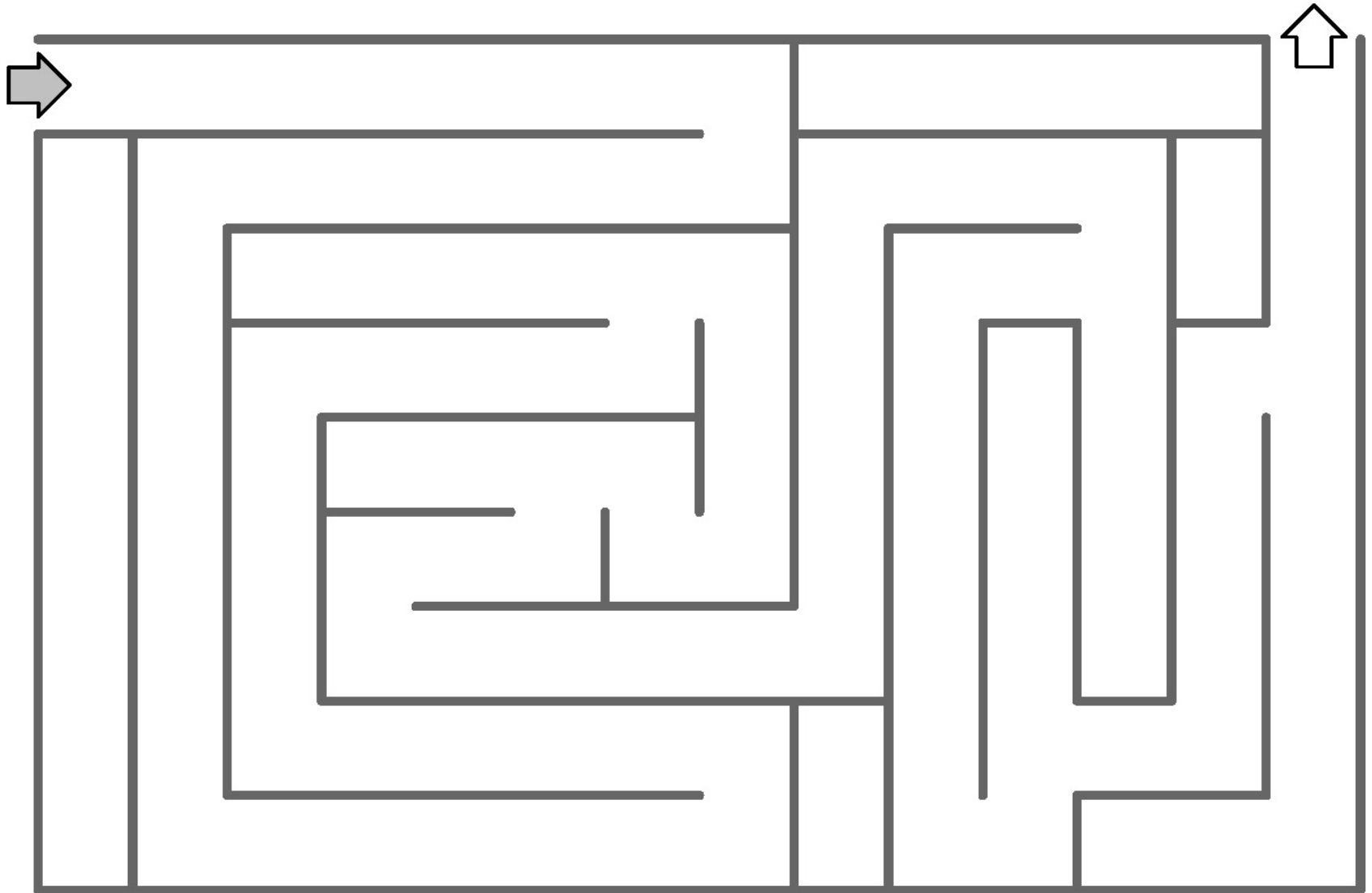
おてほんの とおりに を つなぎましょう。



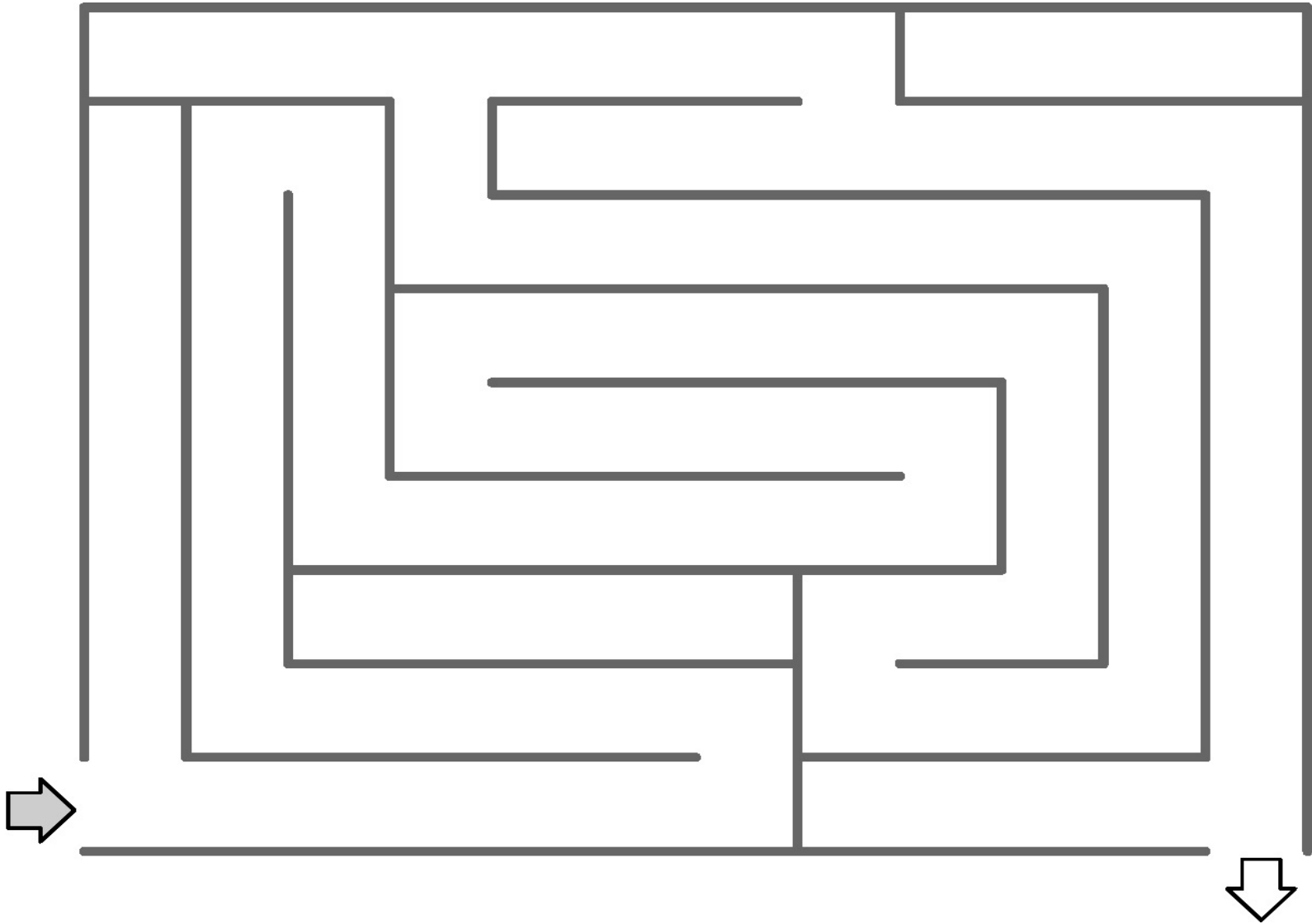
せんから はみださないようにして みちを たどりましょう。



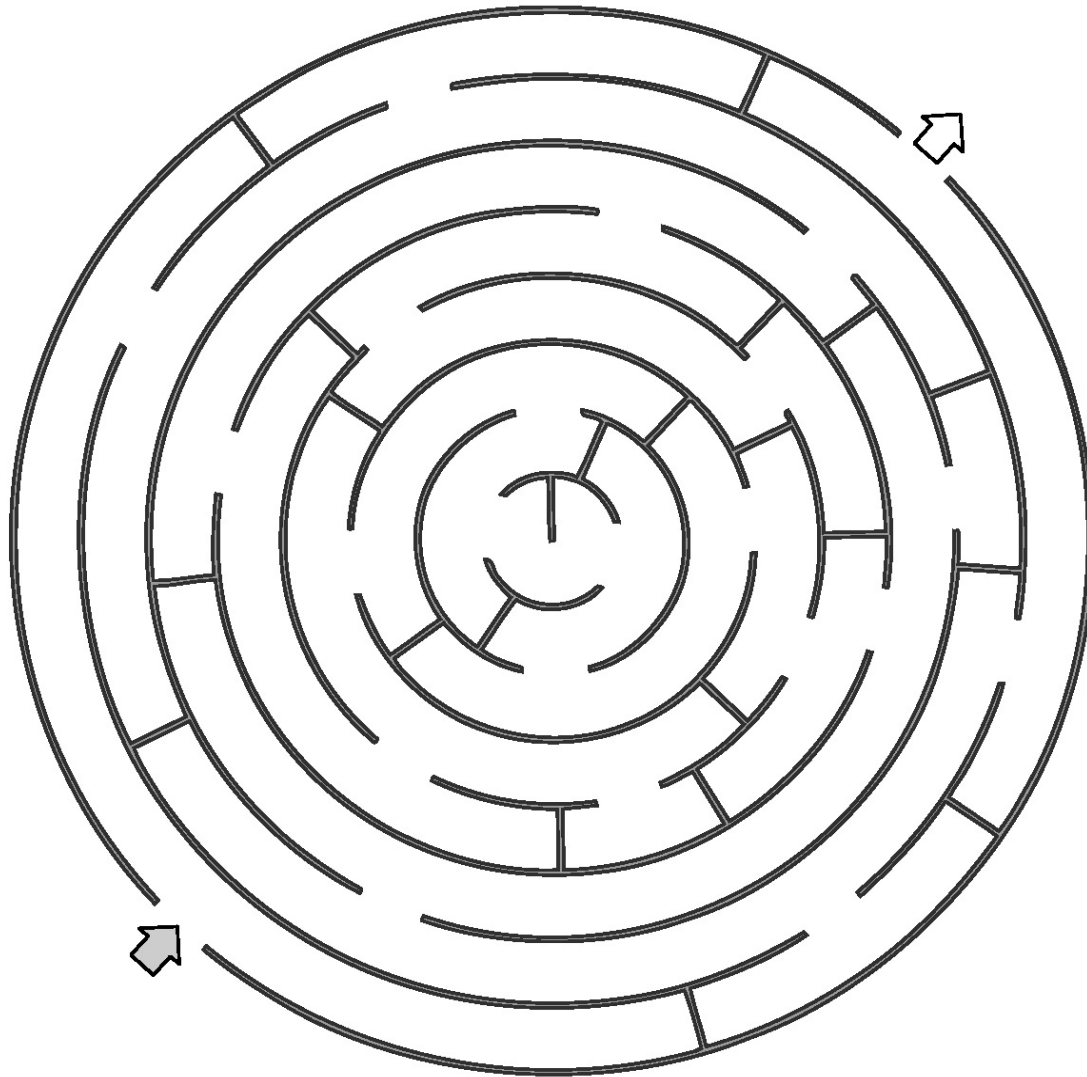
せんから はみださないようにして みちを たどりましょう。



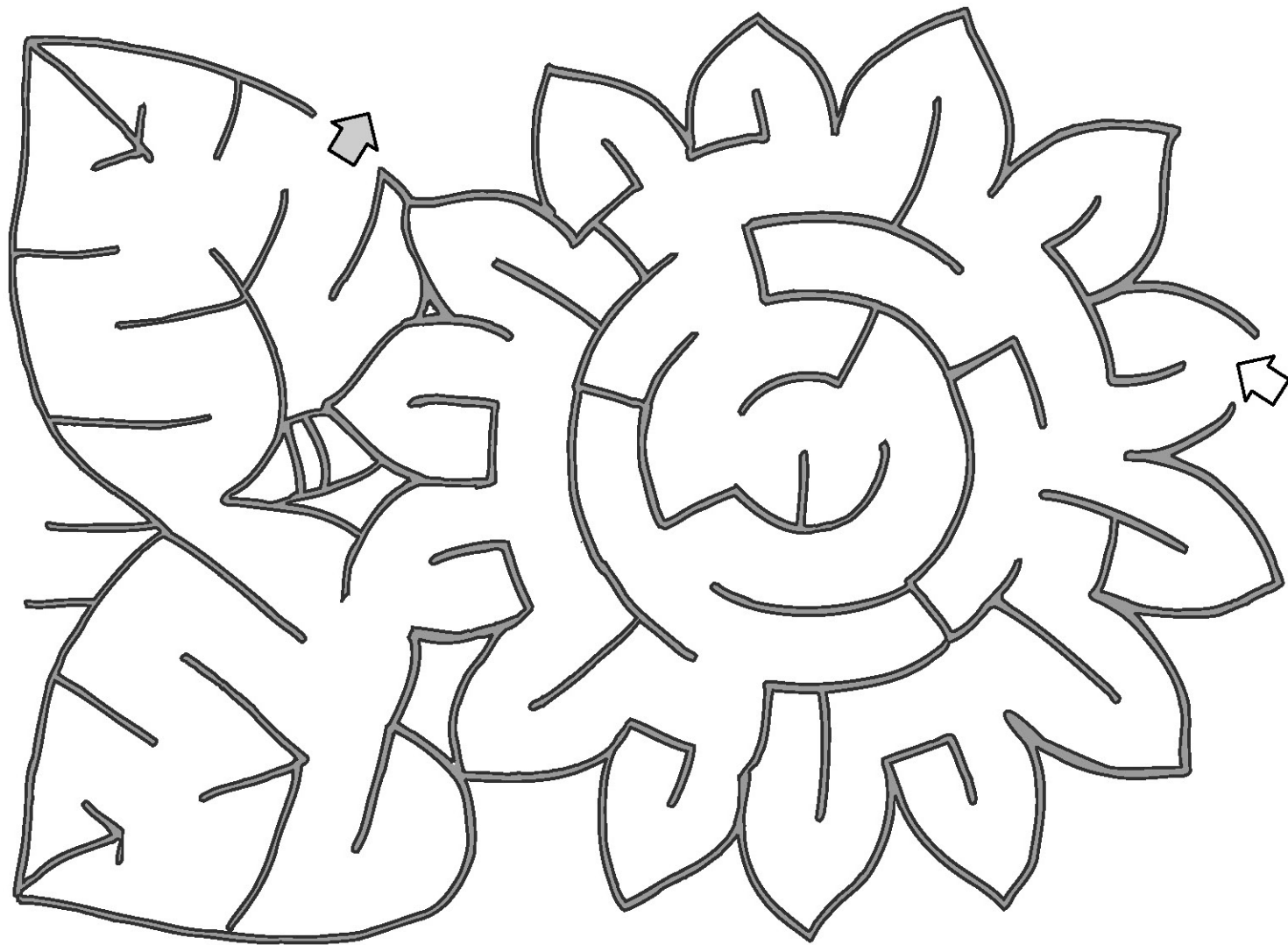
せんから はみださないようにして みちを たどりましょう。



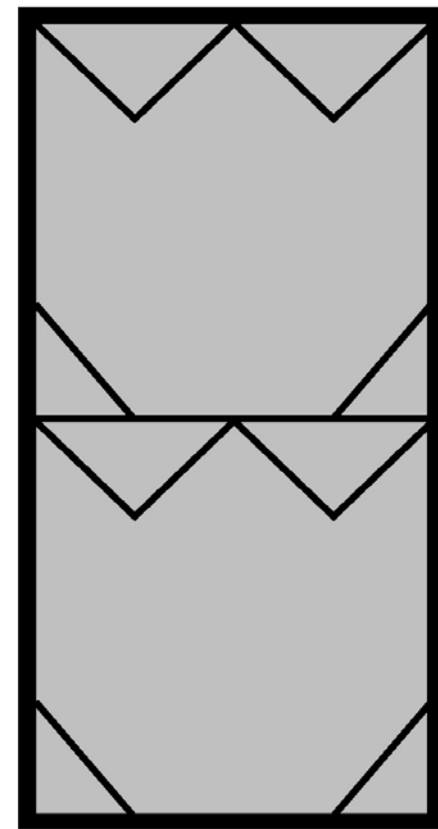
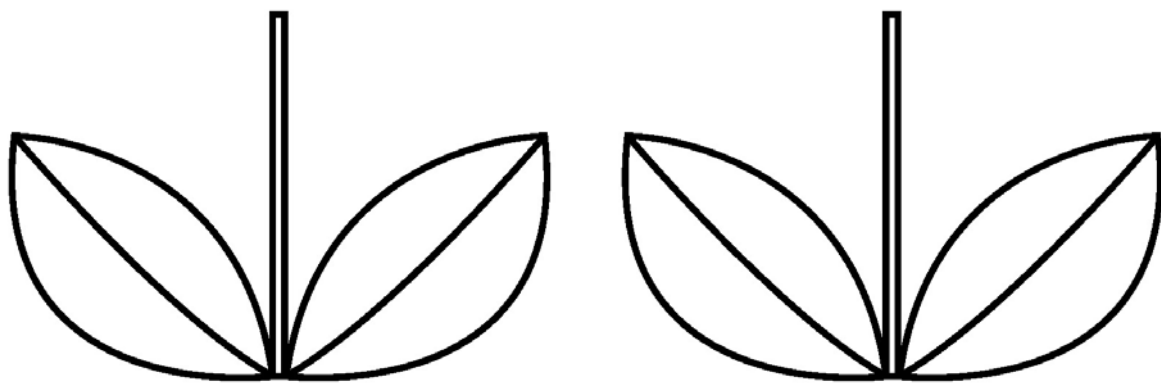
せんから はみださないようにして みちを たどりましょう。



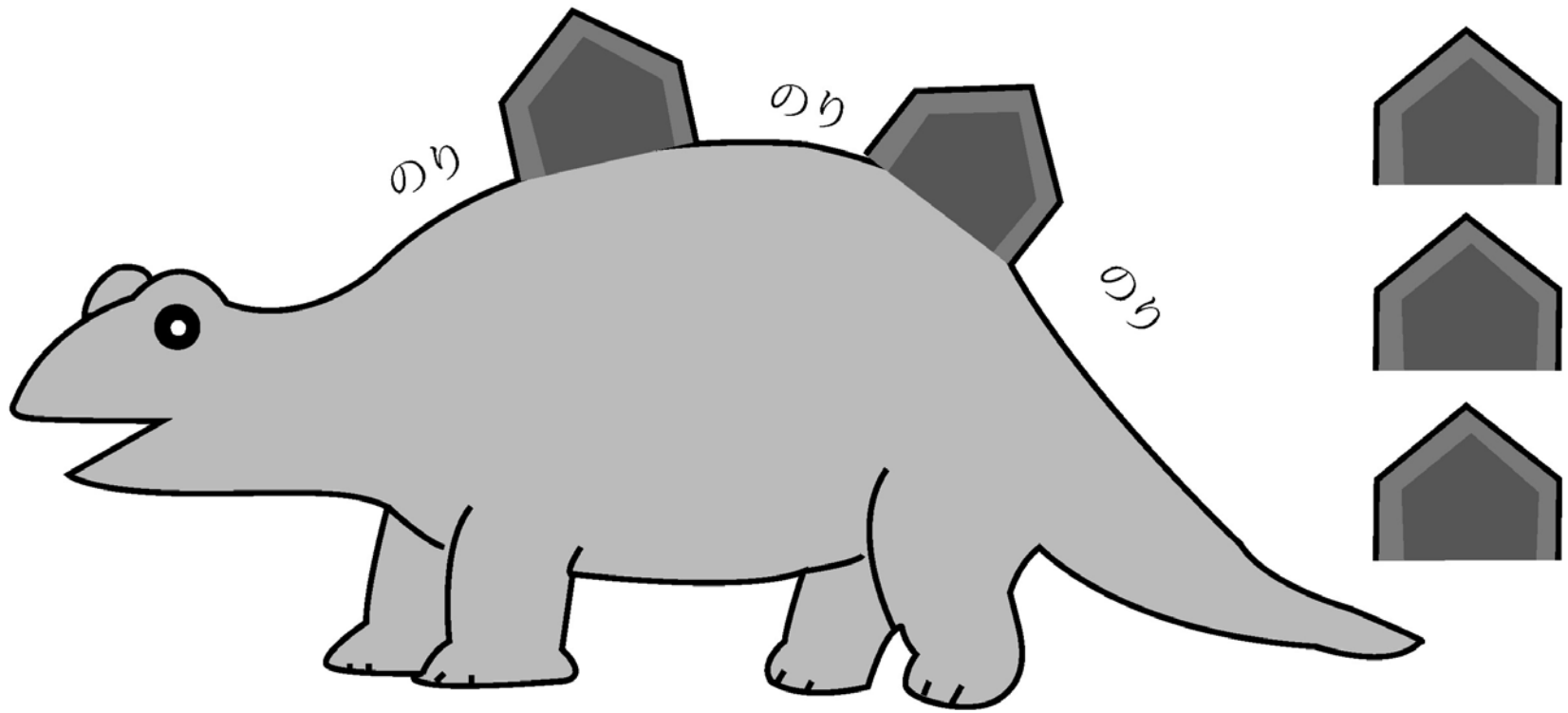
せんから はみださないようにして みちを たどりましょう。



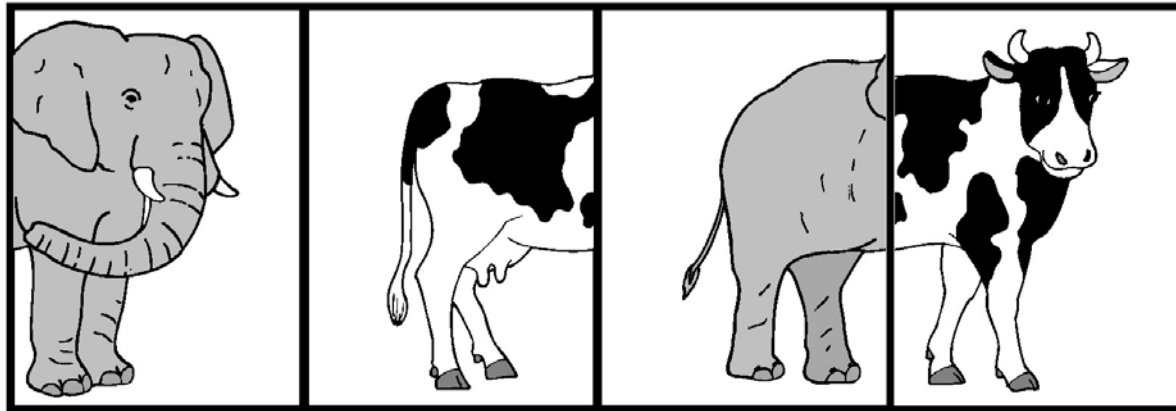
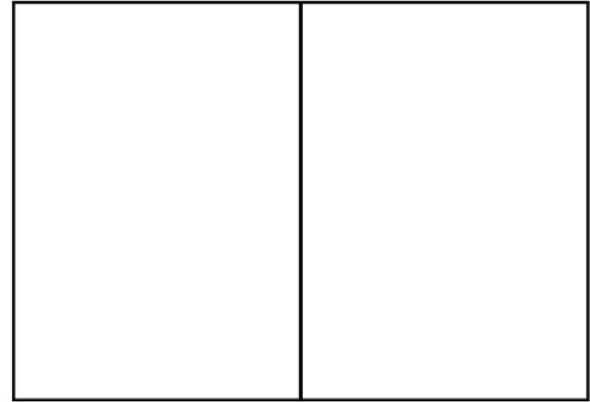
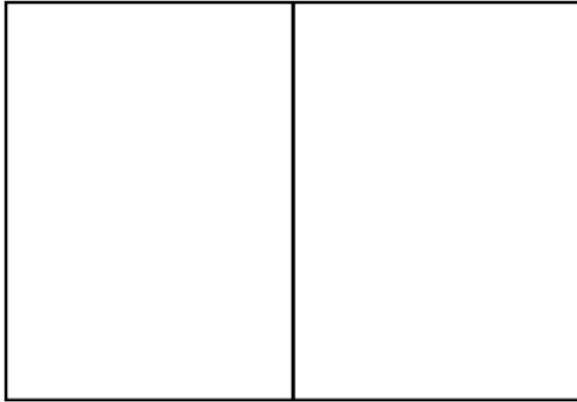
みぎのかたちを切り取って左にはりましょう。



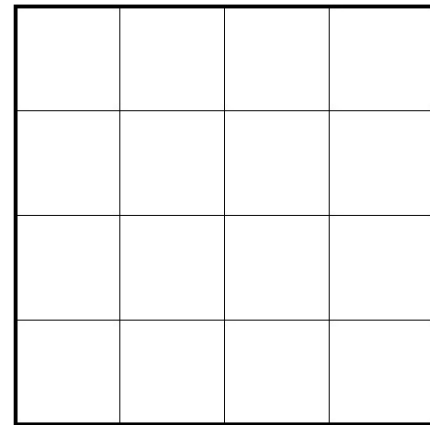
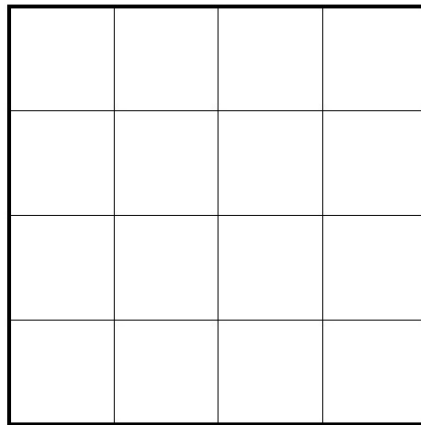
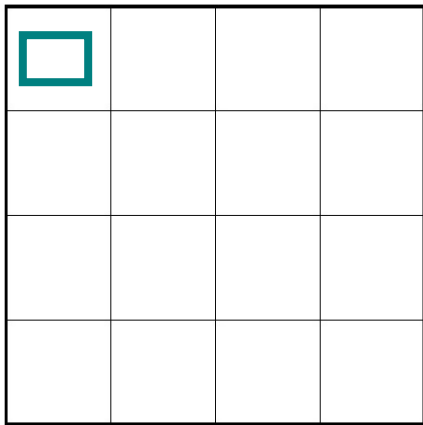
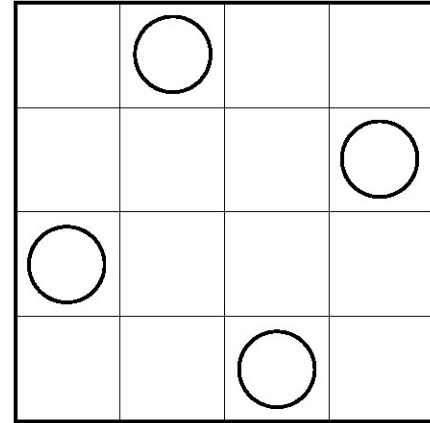
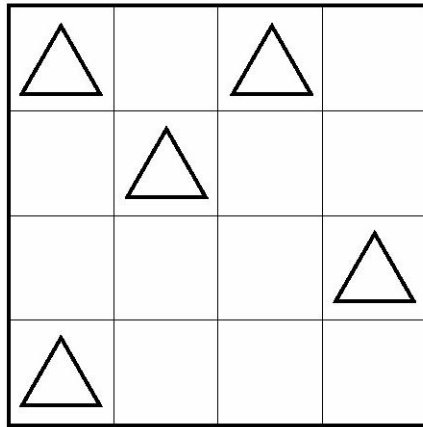
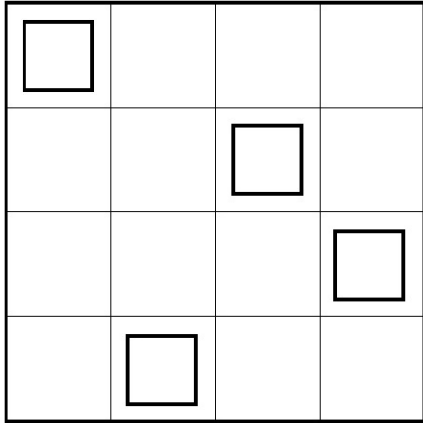
右の かたちを 切り取って きょうりゅうの せなかに はりましょう。



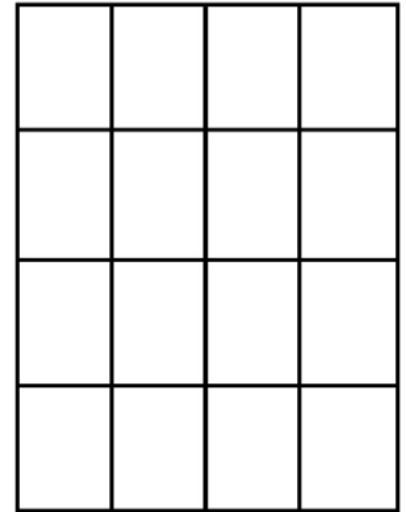
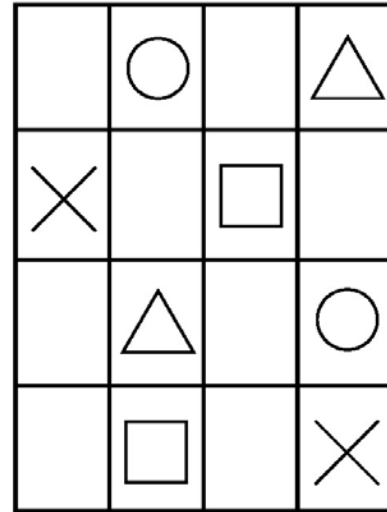
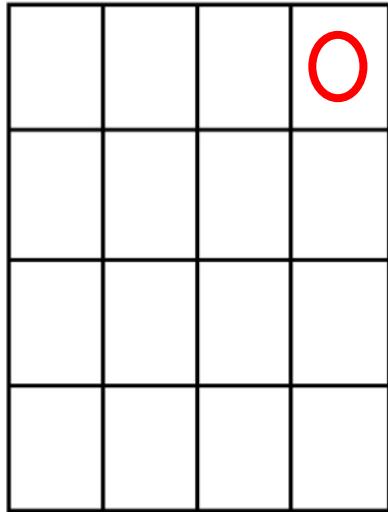
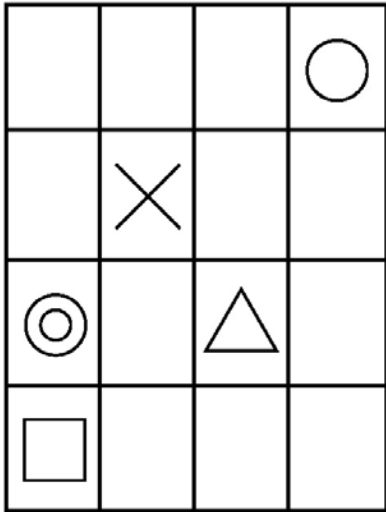
下の かたちを 太い 線で 切り取って、上に はり、パズルを 完成しましょう。



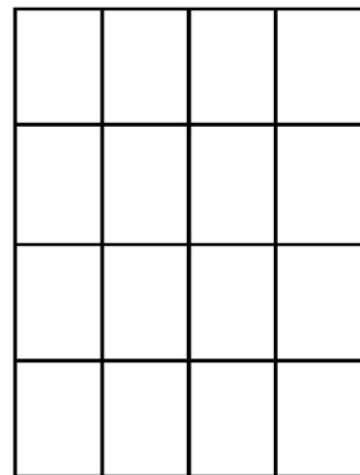
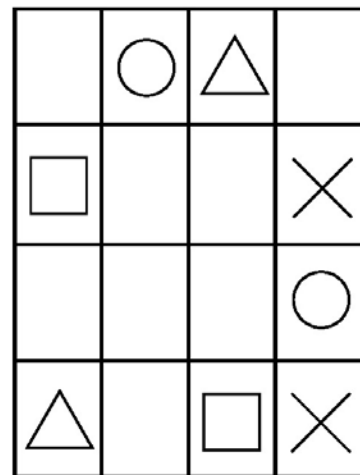
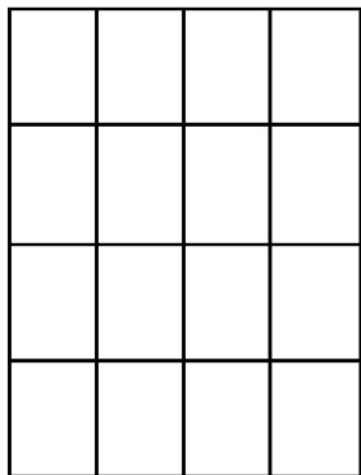
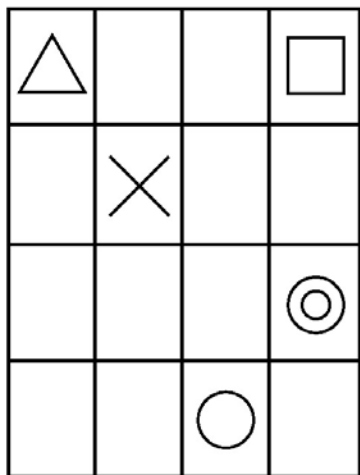
上の 絵と 同じ 場所に 同じ かたちを 書きましょう。



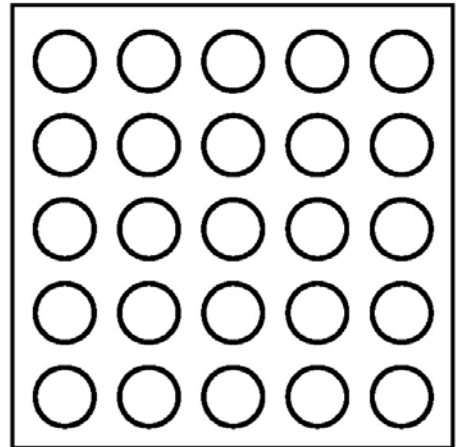
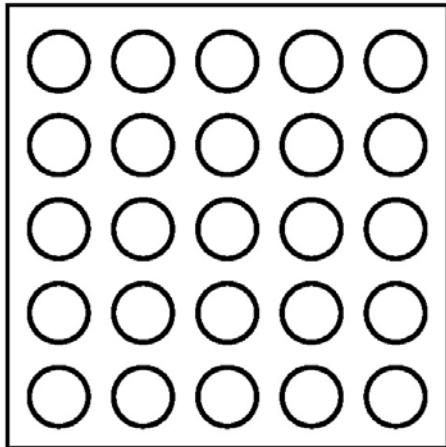
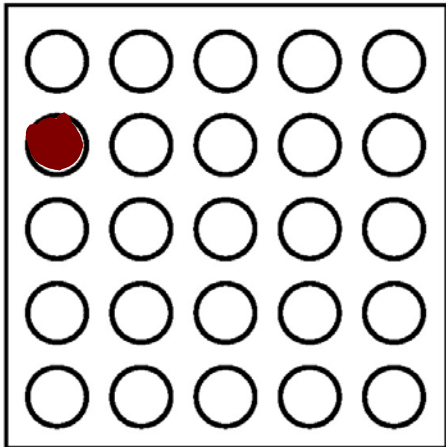
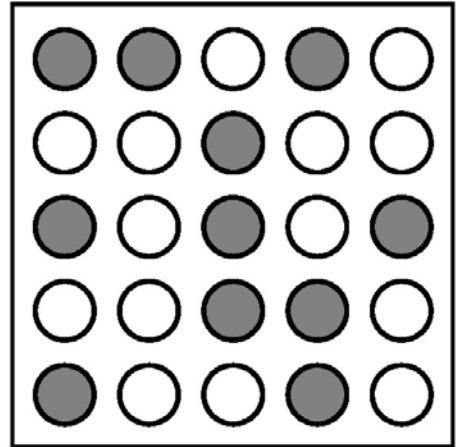
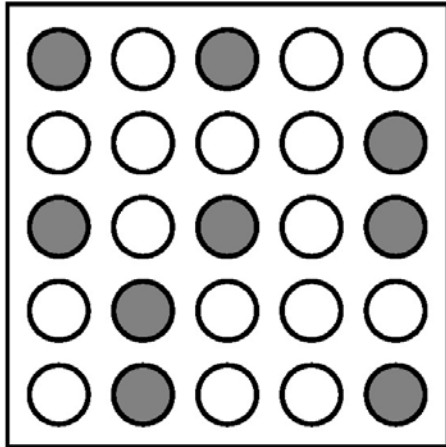
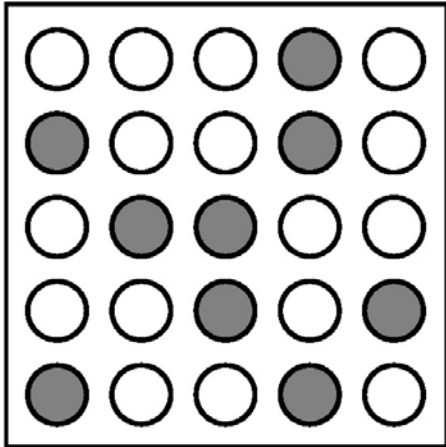
左の絵と同じ場所に同じかたちを書きましょう。



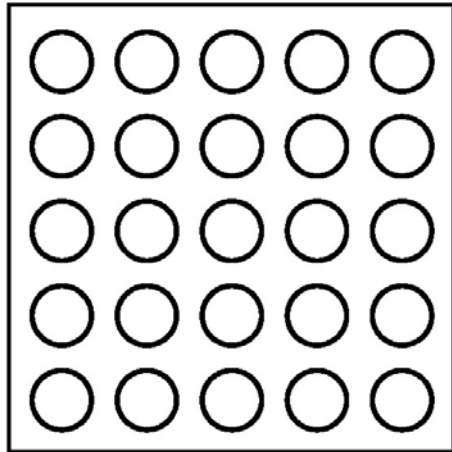
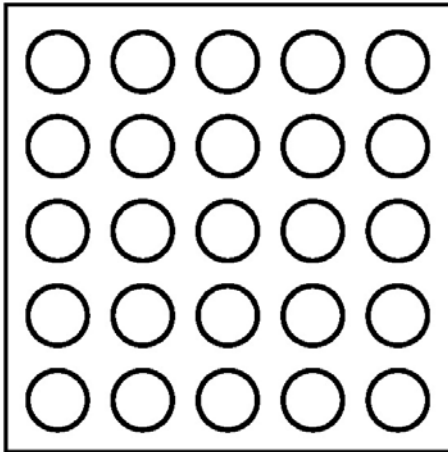
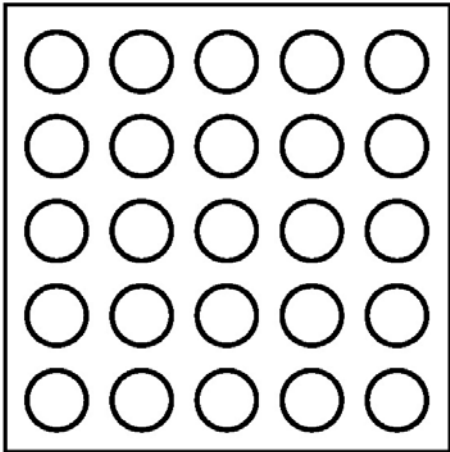
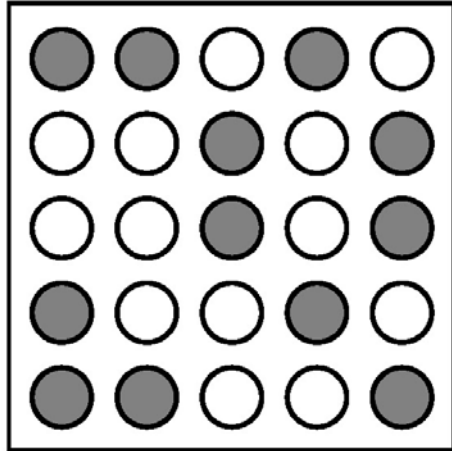
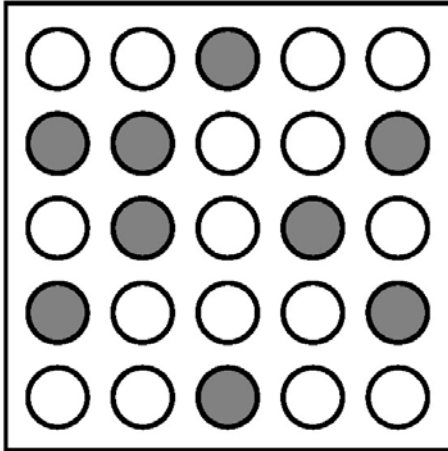
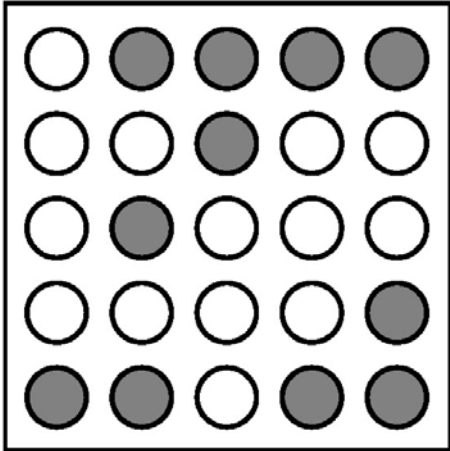
左の絵と同じ場所に同じかたちを書きましょう。



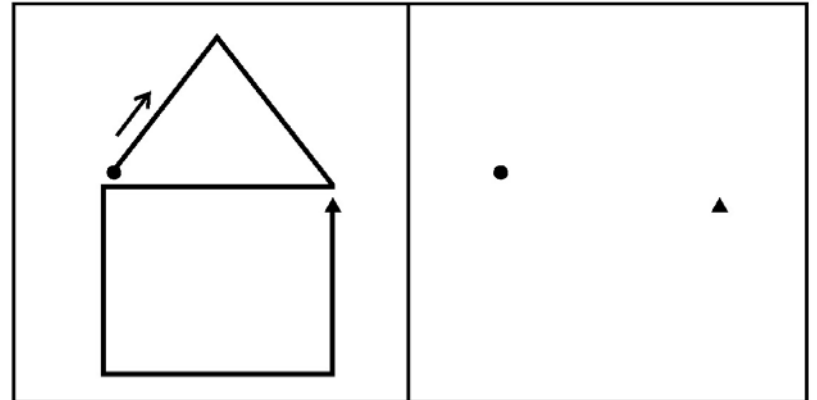
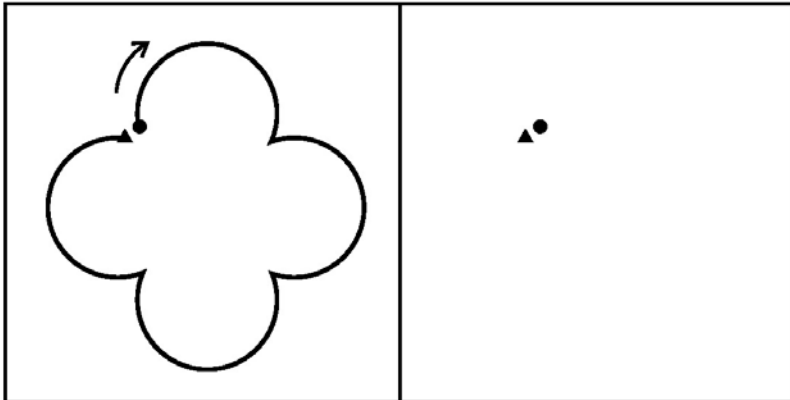
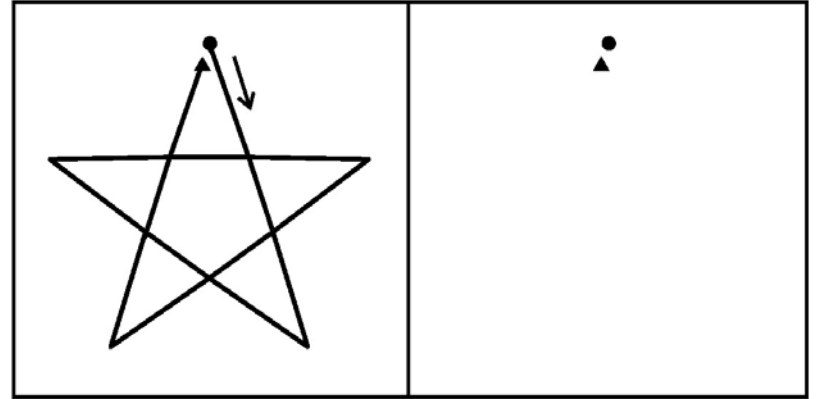
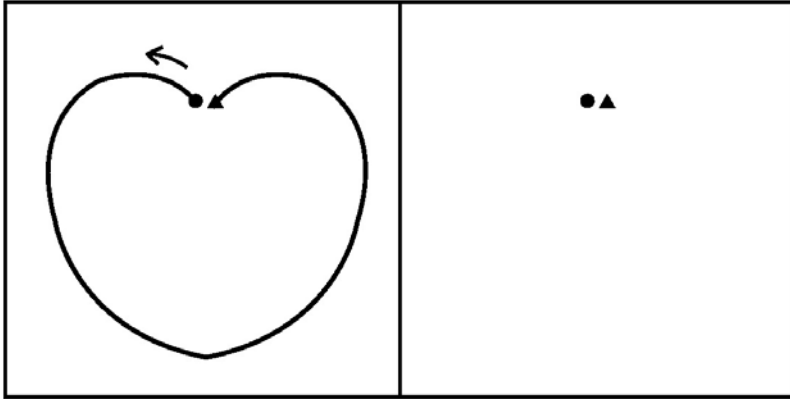
上の 絵と 同じ 場所に 色を ぬりましょう。



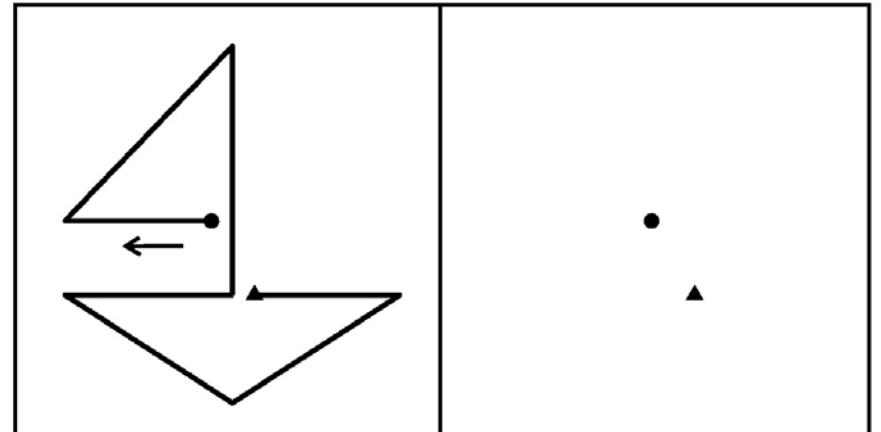
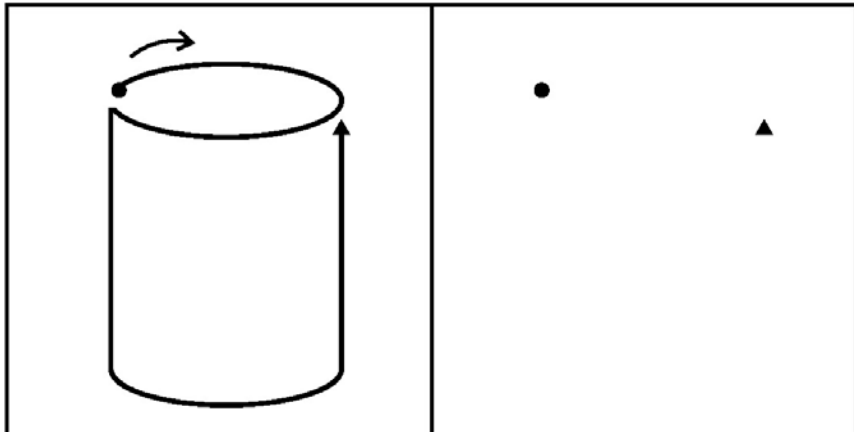
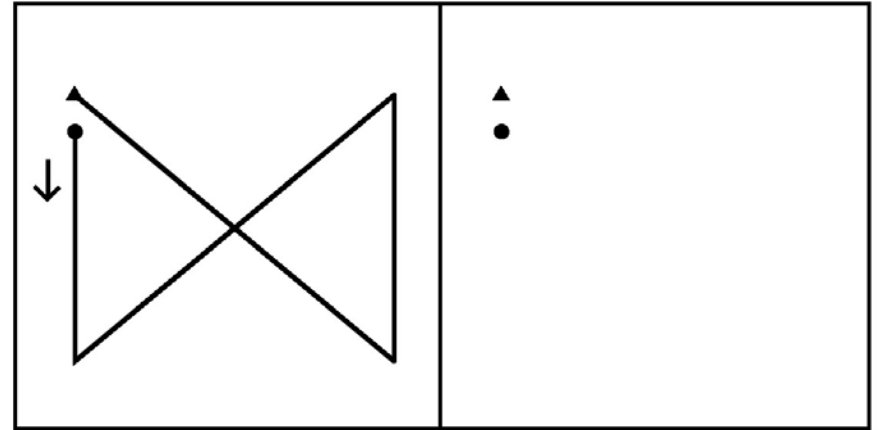
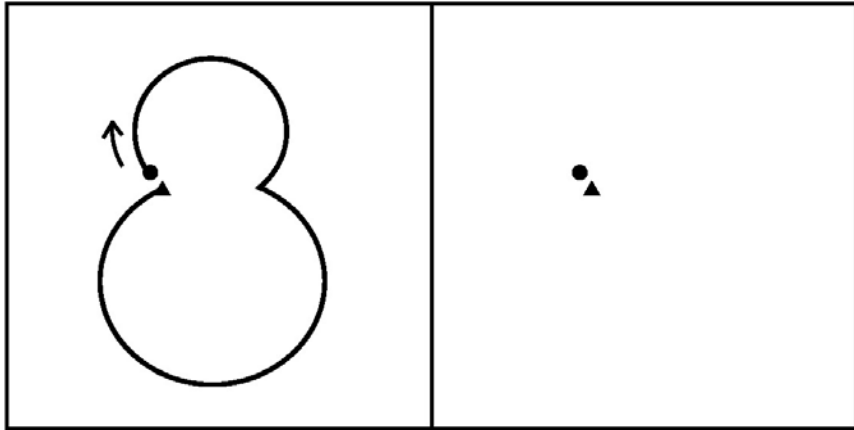
上の 絵と 同じ 場所に 色を めりましょう。



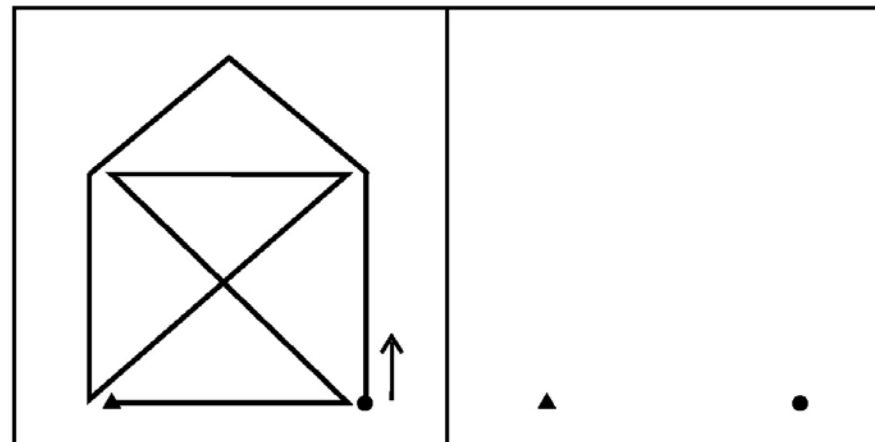
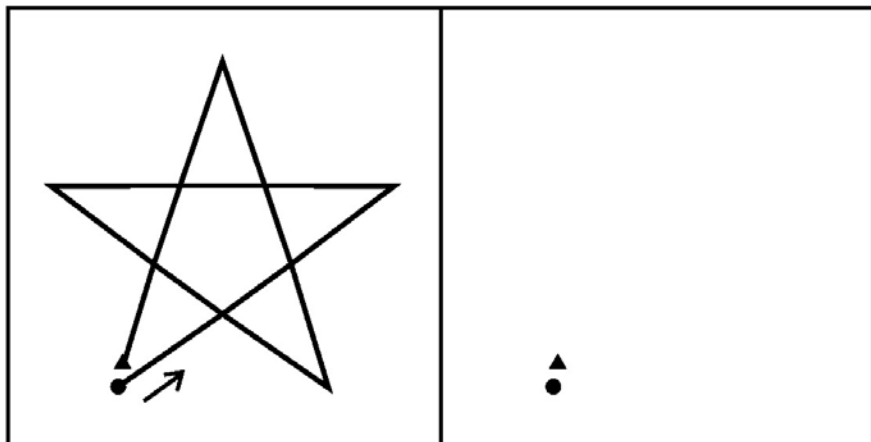
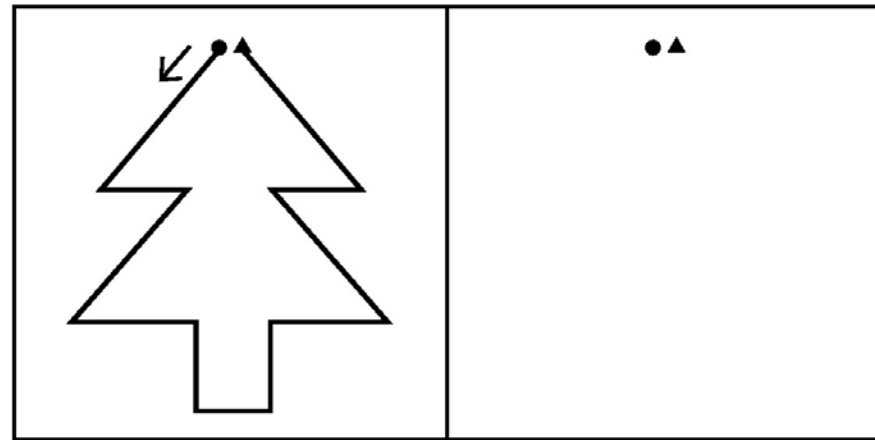
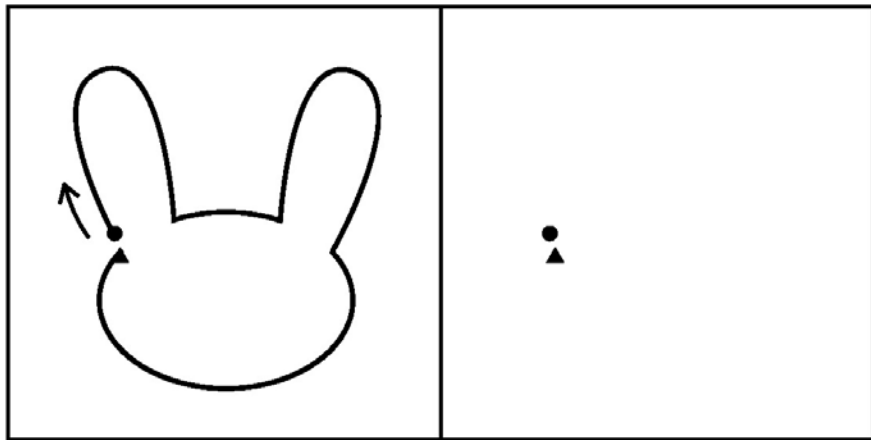
左の かたちを から へ ひとつでで 書きましょう。



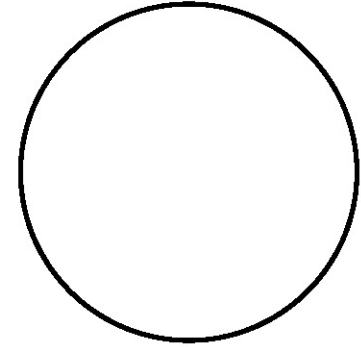
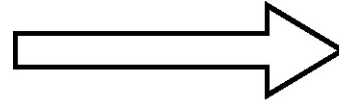
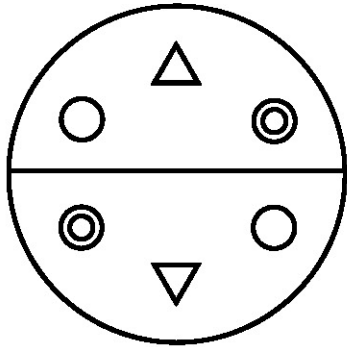
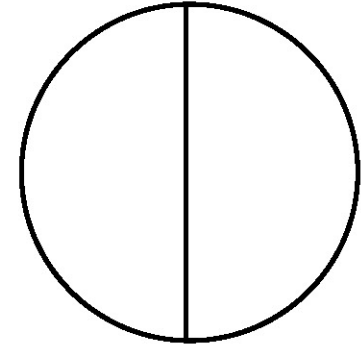
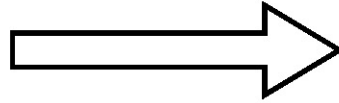
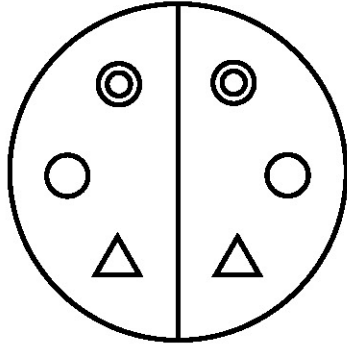
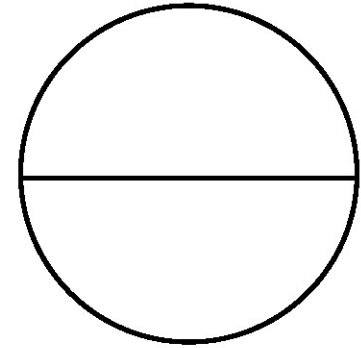
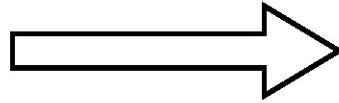
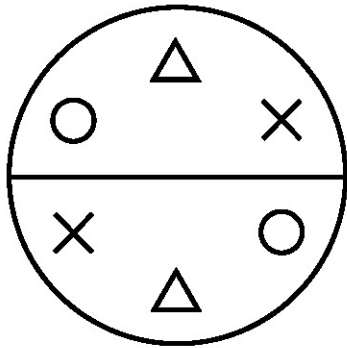
左の かたちを から へ ひとつでで 書きましょう。



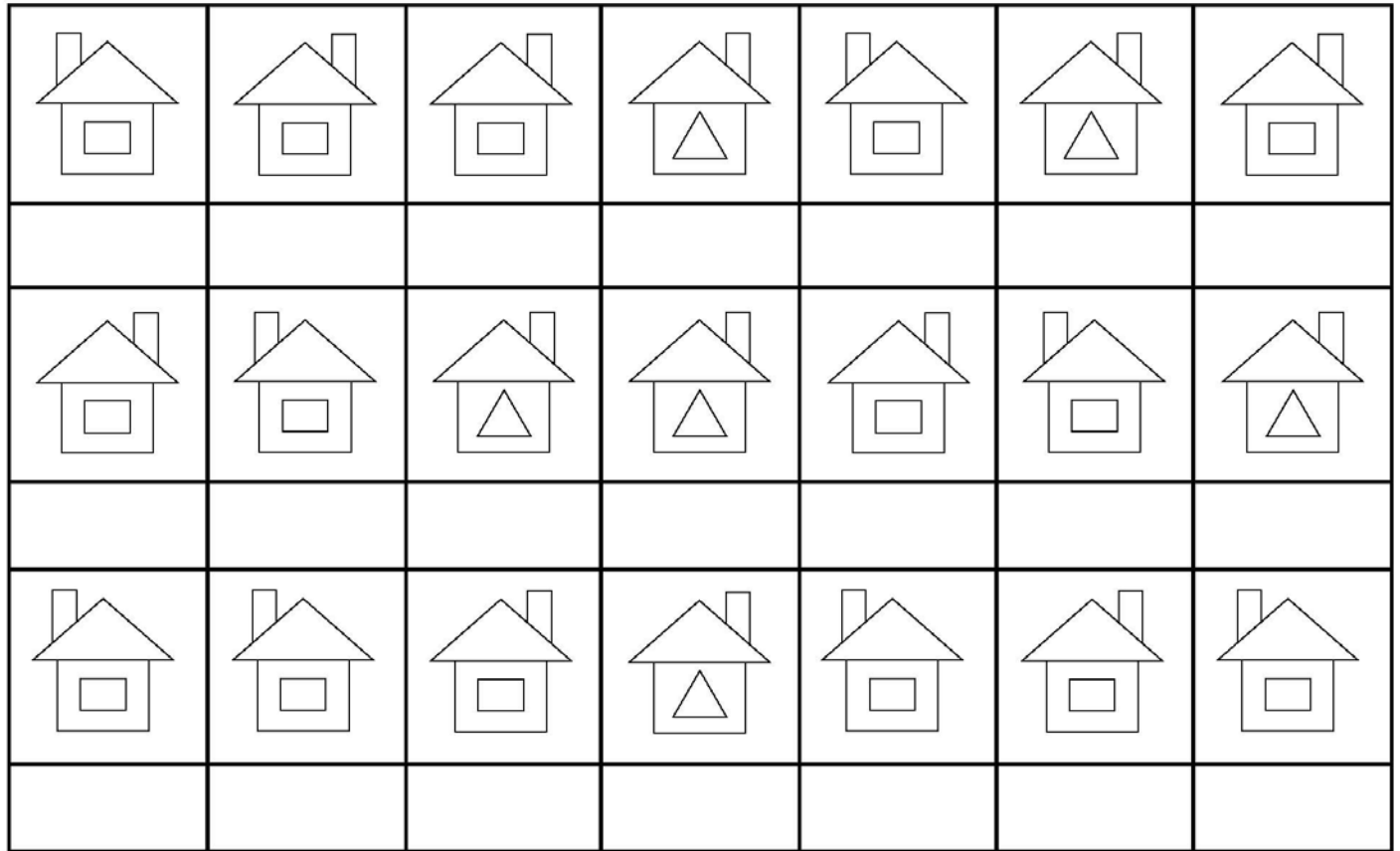
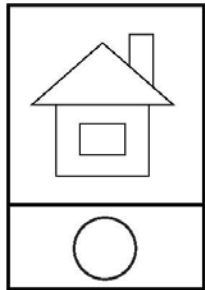
左の かたちを から へ ひとつでで 書きましょう。



左の 絵と 同じ 場所に 同じ かたちを 書きましょう。



左と 同じ かたちの 下に 同じ 記号 () を 書きましょう。

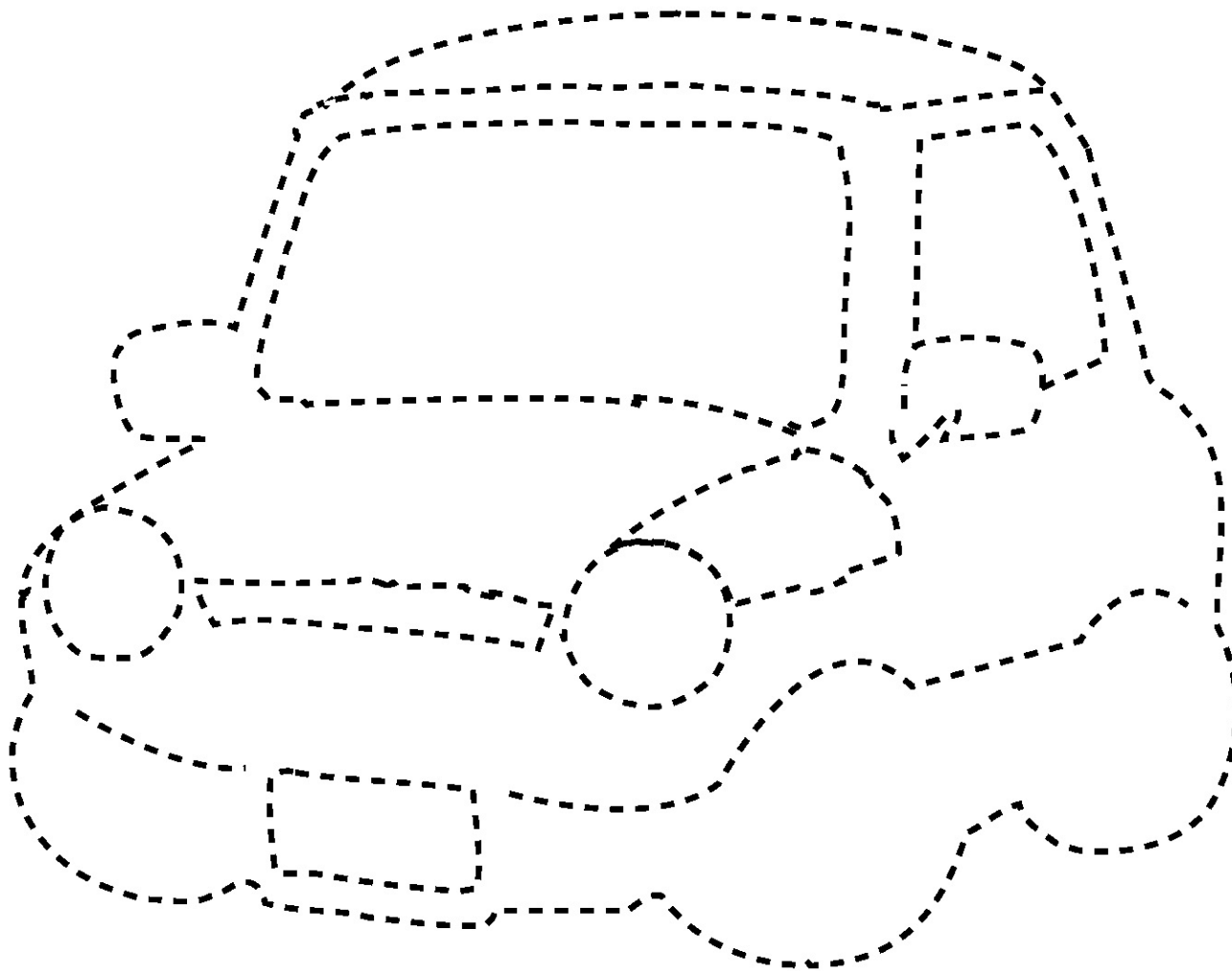


左と 同じ ものを 見つけて それに 合う 記号を 書きましょう。

は
×
ほ
○

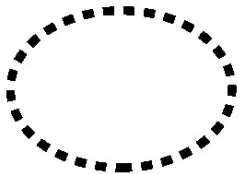
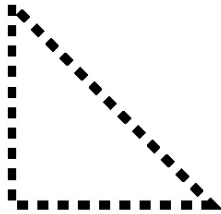
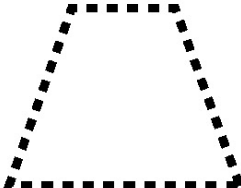
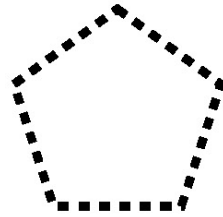


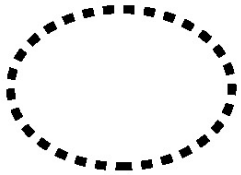
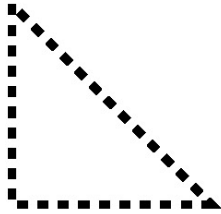
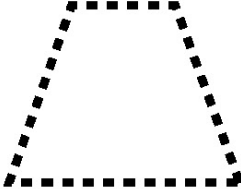
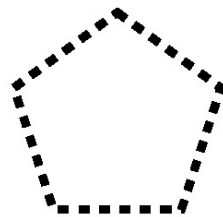
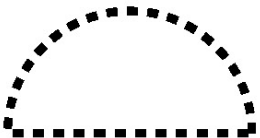

は	ほ	は	ほ	ほ	は	ほ
ほ	は	ほ	ほ	は	は	ほ
ほ	は	ほ	ほ	ほ	は	は

なるべく はみださないように 点線を なぞりましょう。

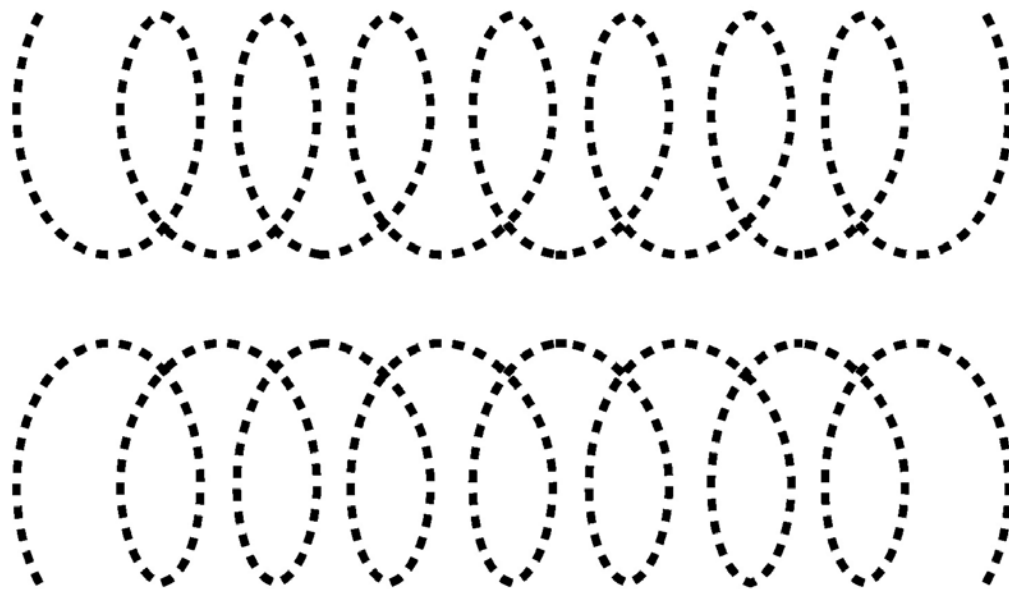
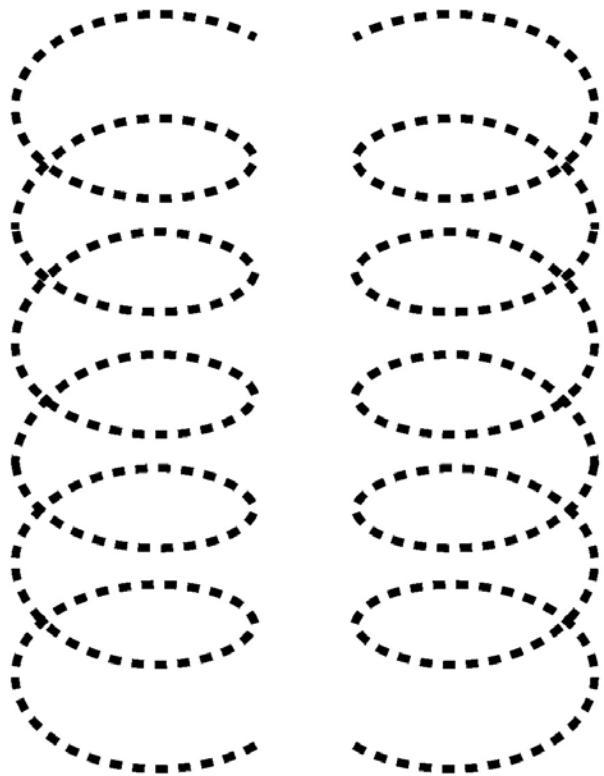


なるべく はみださないように 点線を なぞりましょう。

下にも 同じ かたちを 書きましょう。

なるべく はみださないように 点線を なぞりましょう。



まるの なかまを 赤く、しかくの なかまを 青く、さんかくの なかまを 緑に、ごかくの なかまを 黄色く
色鉛筆で ぬりましょう。そのあと 全部 切り抜きましょう。組み合わせて 何か かたちを 作れるかな？

